

## ふるさと創生基金事業について

## 1 趣旨

ふるさと創生基金事業は、合併特例債等の活用により地域振興を図る事業や市の一体感を醸成する事業を行うものです。

それにより、市民と行政が協働し、連携して事業を実施し、その中で行政主体から地域住民主体への転換を図り、市民活動や地域活動を地域住民自ら考え、具体化し、実践していきます。

## 2 対象事業

- (1) 各支所が行う地域単位の地域振興のために、企画する新規のソフト事業。
- (2) 以前より行われている地域イベント等の拡充事業。

※ 対象となる事業（例）

地域の行事の展開
伝統文化の伝承等に関する事業の実施
民間団体への助成
コミュニティ活動・自治会活動への助成
商店街活性化対策

※ 原則として、単年度事業です。なお、継続事業の場合、継続の必要性などについて地域振興戦略部と協議することになります。

※ 建物や構造物の建設、備品購入については、対象外となります。ただし、材料等を購入して、地域住民の直営による遊歩道や看板作成などについては、認めています。

## 3 事業の検討方法

次のどちらかの方法で行います。三島地域では、次の(1)の方式を採用しています。

## (1) 実行委員会方式

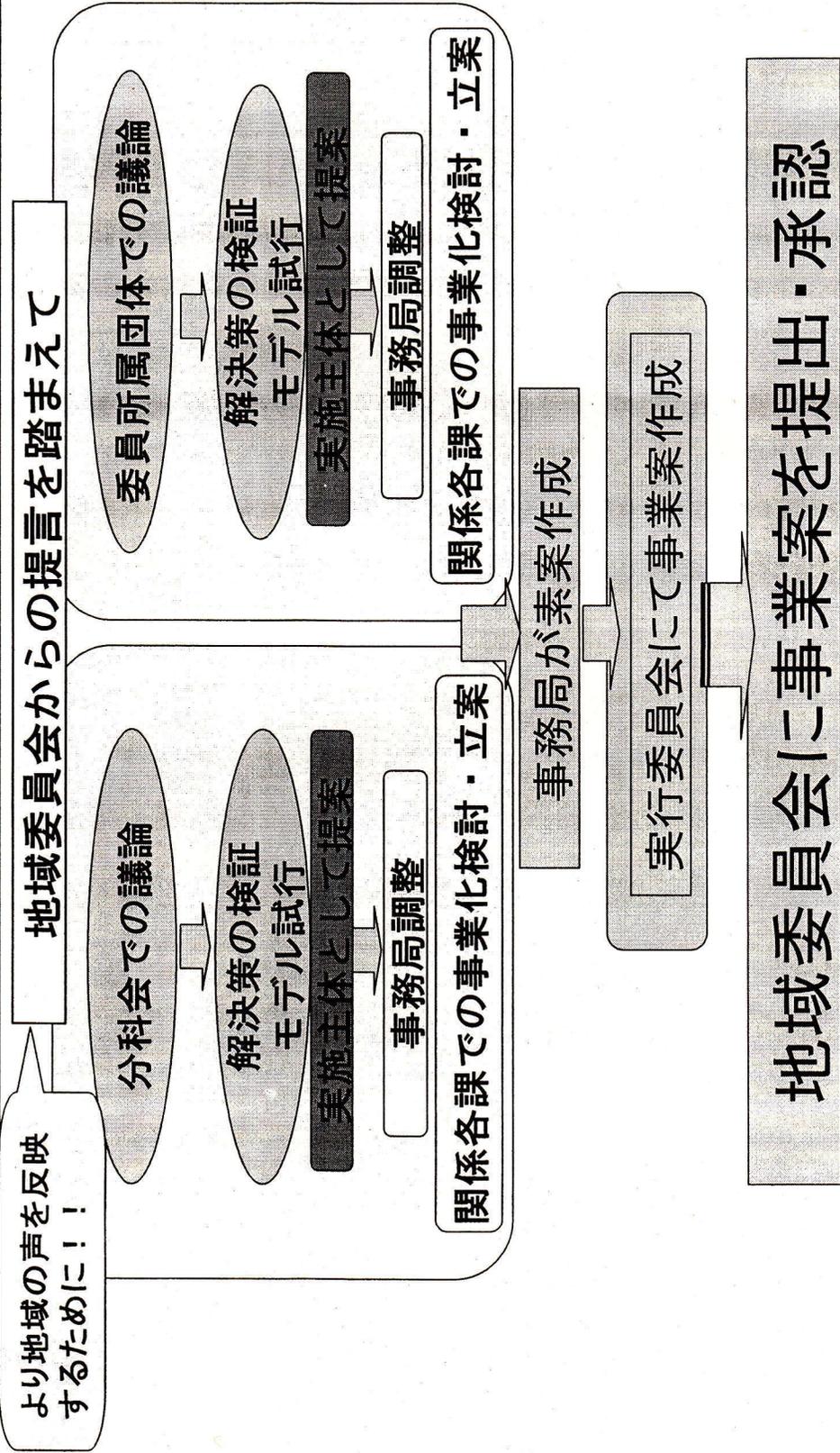
支所に設置した、ふるさと創生基金事業実行委員会で事業を企画・立案し、地域委員会の審査を経て決定します。

## (2) 地域委員会方式

地域委員会の地域振興事業についての意見を参考に、ふるさと創生基金事業実行委員会で事業を企画・立案し、地域委員会の審査を経て決定します。

# ふるさと創生基金事業決定までの流れ

ふるさと創生基金事業とはこの事業は、市町村合併により、地域住民の不安を解消するために、合併特例債等の活用により40億円の積み立てを行い基金を設置し、その運用益により旧市町村の区域における地域振興を図る事業や新市の一体感醸成に資する事業を展開します。それにより、市民と行政が協働し、連携して事業を実施し、その中で行政主体から地域住民主体への転換を図り、市民活動や地域活動を住民自ら考え、具体化し、実践していきます。



# 平成 25 年度長岡市ふるさと創生基金事業について

平成 25 年度長岡市ふるさと創生基金事業については、次の事業を行う。

## 1 スポーツを通じた地域ふれあい推進事業 [事業費 1,020,000 円]

市民一人ひとりの生涯スポーツ活動を促進し、スポーツを通じた世代間交流の機会拡充を図る。

誰もが気軽に参加できる各種運動講座等を計画・実施し、市民の健康維持・体力向上につなげるとともに、スポーツによる地域活性化を目指す。

- 保育園児、小学校児童を対象にした身体能力向上講座（コーディネーション運動）
- 小学生対象の運動能力向上講座（水泳教室、スキー教室など）
- 大人のための健康・体力づくり講座（ハイキング・ウォーキング講座）
- 子どもと高齢者・壮年層を対象にした交流イベント（ボウリング体験講座）
- 親子参加型競技スポーツイベント（ちびっこスポーツまつりイベント）

## 2 青少年の健全育成と子育て支援事業 [事業費 350,000 円]

子育てや青少年の健全育成に対する市民一人ひとりの関心を高めるため、関係機関との連携協力を図りながら、家庭や地域、学校に潜在する問題について地域全体で考える機会を設ける。

地域に根ざした青少年健全育成活動を推進するとともに、次代を担う青少年の心身ともに健やかな成長を目指す

「いじめ」に至るまでの「子どもと暴力」の関係について講演会を計画・実施する。

- 市民が気軽に参加できる懇談会等の開催
- 「子育て支援」をテーマにした情報交換会や懇談会等の実施
- 各種広報媒体を活用した広報啓発活動

## 3 みしまコミュニティ祭り&コミュニティづくり講演会事業 [事業費 630,000 円]

みしまコミュニティセンター設立五周年にあたり、地域住民にコミセンを理解してもらい、親しんでもらうための祭りとコミュニティづくりに関する（著名人の）講演会を開催し、地域住民のコミセン利用拡大と理解の契機とする。

### (1) コミュニティ祭り

- コミセン施設利用文化団体の活動紹介の作品展示
- コミセン施設利用芸能団体の活動紹介の発表会
- コミセン活動の理解を深める為の施設解放など

### (2) コミュニティづくり講演会

- コミュニティづくりに関する講演会

平成 25 年度ふるさと創生基金予算額	2,260,000 円
うち 上記 1 から 3 の事業費の合計	2,000,000 円
ふるさと創生基金実行委員会開催経費	260,000 円
（うち広報紙作成経費	120,000 円）